

みちのく 漁船かわら版



第 3 号
平成27年12月



死者・行方不明者の最も多い海難

「転覆」



声を掛け合い、海難ゼロを目指しましょう！

第二管区海上保安本部交通部

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609

🔍 漁船かわら版 検索

みちのく漁船かわら版URL>>> <http://www.kaiho.milt.go.jp/02kanku/kawaraban/index.html>

無事故達成証

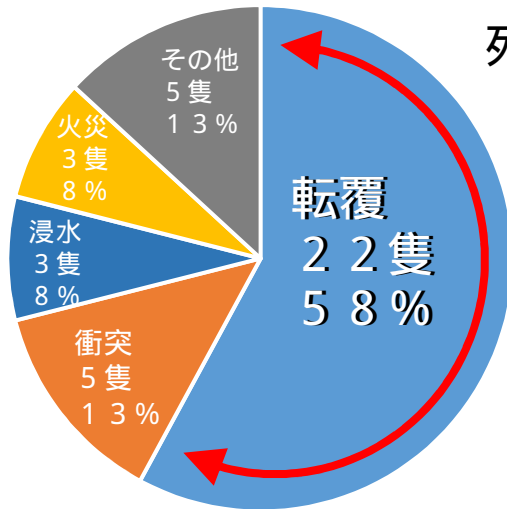
漁船セーフティラリー実施中
声かけて
つなげる絆
無事故の輪

(10月1日～12月31日)

宮城県漁船海難防止協議会
宮城県農林水産部
第二管区海上保安本部

過去10年（H17-H26）における漁船海難発生状況

死者行方不明者を伴う海難状況

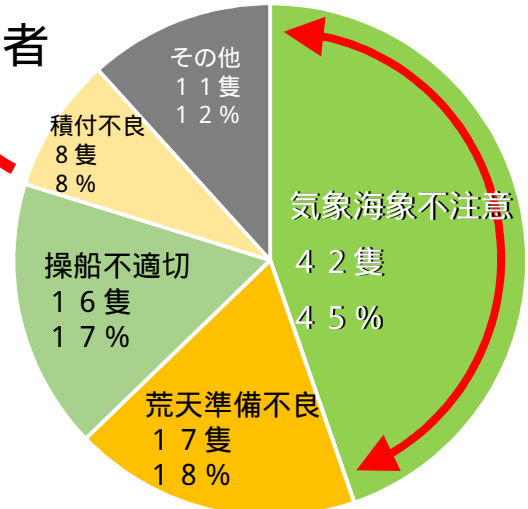


死者行方不明者

59人



転覆海難の主原因状況



死者行方不明者を伴う海難は「転覆」が58%と最も多く、転覆海難の主原因は「気象海象不注意」が45%となっています。出港前は必ず気象海象を確認しましょう！

海水温度と生存可能時間について知っておこう！

右の表は、海水に浸かっている場合の海水温度と生存可能時間を表したものです。

「低体温症」は体温が35度以下になる状態で、次第に動作が鈍く緩慢になり、中度では意識が混濁して、正しい応答が得られなくなります。その後は意識が無くなり、重度の非常に危険な状態になります。また30度以下まで低下すると不整脈などの心臓のトラブルにも繋がります。

海水温度	生存可能時間
2度未満	45分以内
2～10度	1.5～3時間以内
10～20度	6～12時間以内

熱放出低減姿勢



もしも・・・

海中転落してしまった時は、体温低下を少しでも防ぐために、できる限り

熱放出低減姿勢

(HELP: Heat Escape Lessening Posture)

をとり、救助を待ちましょう！



H27 東北地方 漁船事故発生状況（10月末現在）

青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
14隻	8隻 (1隻)	15隻 (1隻)	2隻	2隻	1隻

死者数：4人 括弧は、死者を伴う海難隻数